

2011 年度 前期

東北大学会計大学院アンケート実施報告書

---

*Tohoku University Accounting School*

東北大学会計大学院ワークショップ委員会

## 1. はじめに

東北大学会計大学院は2005年4月に国立大学法人では初めての会計専門職大学院として開設され、今年で5年目を迎えた。2011年9月末時点で187名の卒業生を社会に送り出すことができた。

本大学院の目的はグローバルな視野と高度な分析能力を持つ職業会計人を養成し、将来にわたりこのような人材を社会に提供し続けていくことである。この目的を達成していくために第一義的に重要なことは、会計大学院における教育であり、私たちは、社会が職業会計人に求める能力を把握し、これを学生への教育へと反映し、同時に、現在行っている教育が学生の能力やニーズに見合っているかを常に確認しながら、より効果的な教育方法を模索していく必要があると考えている。私たちは、会計大学院における最善の教育方法・システムを求めていくためのひとつの手段として、毎Semester終了後にアンケートを実施することとした。本会計大学院は、2008年度、会計大学院評価機構による認証評価を受け、認証評価のプロセスにおいて本会計大学院が実施しているアンケートは高い評価を得ている。

過去5年半のアンケートは、「アンケート実施報告書」として会計大学院のホームページ (<http://www.econ.tohoku.ac.jp/~tuasad/keiji2011b.html>) で公開している。私たちの意図は、東北大学会計大学院への入学希望者や将来私たちが教育した学生を受け入れていただくことになる監査法人・会計事務所・企業・官庁の方々に、本会計大学院でどのような教育が行われているかを理解して頂きたいという点にある。私たち教員は、この調査報告書の公開により、東北大学会計大学院へ関心が高まり、本大学院出身の学生が高度な分析能力を持つ職業会計人として活躍できる機会が増えることを期待している。

私たちは、このアンケート調査報告書を在学生在が教員に対して発信したメッセージと捉えている。今後とも、私たちはアンケートを通じて改善すべき点を見だし、質の高い教育サービスを提供できるよう努力していきたいと考えている。アンケート結果についてご意見等をメール等でいただければ幸いである。

今年、私たちは大震災に見舞われた。3月11日は講義がなく、学生諸君・教職員にも大きな被害がなかったことは、不幸中の幸いともいえる。私たちは4月から片平地区への移転を予定していたが、この震災により移転計画の大幅な変更を余儀なくされ、前期の講義も十分とはいえない環境の中で行われた。このような厳しい環境の中でも普段通り勉強を続けた学生諸君に敬意の念を表したい。最後に、今回の大震災の被害に遭われた方々の冥福を祈ると共に、今後、私たちは会計の専門家として震災復興に貢献していきたいとの決意を表明したい。

2011年12月6日

東北大学会計大学院ワークショップ委員会

## 2. 実施方法

本報告は、2011年度前期の「会計大学院の授業に関するアンケート」（巻末：付録1参照）に関するものである。アンケートは講義中に配布・回収を行い、延べ人数にして358名の回答を得た。アンケートは無記名であり、受講生が5人以上であるすべての講義と、受講生が5人未満で担当教員が希望する講義について実施した。

今回の報告の目的は、本会計大学院における教育の現状を学生・教員へタイムリーに報告することであり、アンケート質問項目ごとの分析は行わず、アンケートの集計結果のみを示すこととしたい。本会計大学院の教育内容・教育方法全般に関する分析については、今年度末（2012年3月）の報告書で行いたいと考えている。ただし、今回のアンケートにおいて学生から寄せられた意見の中で、会計大学院の教育全般に関わると考えられるものについては、若干のコメントを行いたい。なお、科目毎のアンケートの集計結果（アンケート質問項目17の自由質問を含む）と自由記入欄の記載内容は担当教員に直接報告されており、ワークショップ委員会では、これが次年度以降の講義内容の充実に資することを期待している。

### 3. 「会計大学院の授業に関するアンケート」に関する分析

#### 3.1. アンケートの実施状況

2011年度前期における開講講義数は54科目であり、そのうち履修者が5名以上の講義と、教員がアンケートの実施を申し出た科目の、合計29科目についてアンケートが実施された。開講科目と履修者・アンケート回収数をまとめると次のようになる。

授業科目名	履修者数	回収数
上級財務諸表	17	14
財務会計1	48	25
財務会計2	46	29
上級財務会計	29	12
簿記1	26	17
簿記3	19	18
事例研究（財務諸表分析）	7	7
管理会計	14	13
原価計算1	41	33
原価計算3	20	16
事例研究（コストマネジメント）	10	9
外書講読（コストマネジメント）	8	7
監査	36	9
上級監査	5	1
会計職業倫理	25	4
監査計画の編成法2	14	12
事例研究（監査制度）	10	7
IT監査	18	13
マクロ経済学	7	6
経営管理	17	6
証券取引行政	18	6
事例研究（証券取引行政）	10	5
会社法	24	23
法人税法	23	17
所得税法	9	9
企業開示制度のしくみと実際	18	15
ビジネス・コミュニケーション1	16	9
ビジネス・コミュニケーション2	10	7
情報セキュリティ	9	9
合計	554	358

「履修者数」は履修登録を行った学生数であり、「回収数」は履修登録を行わず聴講している学生も含んでいる。

表1：アンケート実施科目と回収数

今回のアンケートでは、延べ履修者数554名に対して358名から回答を得た。アンケートの回収率は64.62%であり、前回（2010年度後期, 72.49%）や、前年度同期（2010年度前期, 71.92%）と比べるとやや下がったものの、3分の2に近い高い水準である。

なお、質問項目17は科目担当教員が独自に行う質問であり、アンケートの集計には含めていない。

### 3.2. アンケートに関する基本統計量

各質問の選択肢に付与された数字は、好ましい回答ほどその値が大きくなるよう設定されているため（質問1を除く）、この数値化によって回答の平均値、中央値、最頻値の算出を行った。併せて、参考のため標準偏差も計算した。その結果は以下の通りである。なお、アンケートの内容については付録2を参照されたい。

項目\質問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	属性	出席	予習	復習	宿題	理解	難易度	教員準備	プレゼン	教材	評価方法	シラバス	教員評価	対試験	キャリア	資格
5	127	302	9	9	26	101	201	233	224	215	211	175	219	160	177	27
4	195	36	9	16	30	166	107	84	89	97	91	93	101	89	106	29
3	15	5	31	39	62	71	39	24	31	30	42	69	22	74	56	72
2	4	8	35	50	62	15	9	11	11	13	7	13	12	15	9	157
1	10	4	114	144	102	4	2	6	3	3	6	6	2	19	6	18
0	6	-	160	98	73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86
合計	357	355	358	356	355	357	358	358	358	358	357	356	356	357	354	389
平均値	4.14	4.76	1.00	1.32	1.86	3.97	4.39	4.47	4.45	4.42	4.38	4.17	4.47	4.00	4.24	2.05
中央値	4.00	5.00	1.00	1.00	1.00	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.00	5.00	4.00	4.00	2.00
最頻値	4	5	0	1	1	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	2
標準偏差	0.94	0.48	1.52	1.56	2.26	0.75	0.67	0.77	0.71	0.73	0.79	0.95	0.64	1.30	0.85	2.04

表2：アンケートの基本統計量

質問項目間の相関関係をみるために、次のような表を作成した。質問16の資格は複数回答が可能となっているが、相関係数の計算上、複数回答については複数の数値を合計した値を用いている。例えば、2と3の資格を持つ回答者は資格の値を5として相関係数を計算している。なお、表2の計算の際には、資格についてこのような合計はしていない。

質問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	属性	出席	予習	復習	宿題	理解	難易度	教員準備	プレゼン	教材	評価方法	シラバス	教員評価	対試験	キャリア	資格
1 属性	1.000															
2 出席	-0.007	1.000														
3 予習	0.114	-0.089	1.000													
4 復習	0.121	-0.111	0.578	1.000												
5 宿題	0.073	-0.069	0.448	0.485	1.000											
6 理解	-0.006	0.017	0.110	0.121	-0.022	1.000										
7 難易度	0.117	0.075	0.075	0.125	0.063	0.410	1.000									
8 教員準備	0.011	0.022	-0.065	0.016	0.062	0.174	0.454	1.000								
9 プレゼン	0.004	0.027	0.059	0.062	0.153	0.214	0.481	0.738	1.000							
10 教材	0.016	0.033	0.050	0.105	-0.014	0.356	0.547	0.583	0.545	1.000						
11 評価方法	0.055	-0.013	0.074	0.081	0.103	0.328	0.519	0.521	0.593	0.610	1.000					
12 シラバス	0.102	0.048	0.042	0.046	0.060	0.244	0.491	0.525	0.435	0.494	0.563	1.000				
13 教員評価	0.076	0.019	0.026	0.052	0.128	0.269	0.526	0.677	0.695	0.568	0.657	0.546	1.000			
14 対試験	0.096	0.043	0.023	0.055	-0.139	0.208	0.426	0.301	0.265	0.339	0.388	0.353	0.340	1.000		
15 キャリア	0.033	0.069	0.000	-0.010	0.037	0.197	0.415	0.372	0.387	0.493	0.481	0.368	0.509	0.323	1.000	
16 資格	-0.061	-0.097	-0.111	-0.191	0.020	-0.017	-0.145	-0.058	-0.088	-0.191	-0.105	-0.139	-0.049	-0.150	0.029	1.000

表3：質問項目間の相関関係

上記の表については過去の報告書でも報告されている。過去の報告書については、会計大学院のホームページ (<http://www.econ.tohoku.ac.jp/~tuasad/keiji2011b.html>) を参照されたい。

#### 4. まとめと自由記入欄に対する回答

今回のアンケートは、3分の2に近い高い回収率を示しており、学生全体の総意に近い内容を含んでいるものと考えられる。私たちは、今回の結果を真摯に受け止め、本会計大学院の教育内容が充実していくよう努力していきたいと考えている。

自由記入欄に書かれた意見の全体的な傾向を挙げる。これまでのアンケートでも同様の指摘がなされてきたが、今回特に目立ったものは以下の3つであった。

i) 宿題や小テストは理解を深めるのに役立つ。知識のインプットと、それを使った計算問題等のアウトプットの両方を行う機会があると、理解が深まりやすいようである。

ii) 実務について講義する際、対応する会計基準と照らし合わせると理解しやすく、将来も役立ちそうだという感想が多かった。

iii) 講義資料やスライドが事前に配布なりウェブ上にアップロードなりされていると講義の準備がしやすいとの意見が複数あった。

このほか、講義を進めるスピードを適正にしてほしい、話すスピードが変わらず抑揚がないのも集中しにくい等の、プレゼンテーションの技術に関する意見が散見された。

これらの意見については、会計大学院運営委員会へ報告し、講義の改善に役立ててもらいたいと考えている。

付録1：「会計大学院の授業に関するアンケート」（2011年度前期）

このアンケートは会計大学院の授業改善に学生諸君の意見を反映するためのものであり、集計結果等は報告書として公表致します。

授業科目名はマークシート用紙に記入されていますので御確認下さい。

回答者属性

番号	質問	回答	
1	あなたの専攻・コース（学年）について、該当するものを選んで下さい。	(5) 公認会計士コース（2年） (4) 公認会計士コース（1年） (3) 高度会計職業人コース	(2) 経済経営学専攻 (1) 経済学部 (0) その他

科目内容について

番号	質問	回答	備考
2	この講義にどのくらい出席しましたか？	(5) 90%以上 (4) 89-70% (3) 69-50% (2) 49-20% (1) 20%未満	おおよその出席率で回答して下さい。
3	この講義の予習に毎回どのくらいの時間を掛けましたか？	(5) 5時間以上 (4) 4-5時間 (3) 3-4時間 (2) 2-3時間 (1) 1-2時間 (0) 1時間未満	セメスターを通じた平均時間を回答して下さい。
4	この講義の復習に毎回どのくらいの時間を掛けましたか？	(5) 5時間以上 (4) 4-5時間 (3) 3-4時間 (2) 2-3時間 (1) 1-2時間 (0) 1時間未満	宿題に掛けた時間を含めずに回答して下さい。
5	この講義の宿題に毎回どのくらいの時間を掛けましたか？	(5) 5時間以上 (4) 4-5時間 (3) 3-4時間 (2) 2-3時間 (1) 1-2時間 (0) 1時間未満	セメスターを通じた平均時間を回答して下さい。
6	この講義の内容をどの程度理解できたと思いますか？	(5) 理解できた (4) ほぼ理解できた (3) どちらともいえない (2) あまり理解できなかった (1) 理解できなかった	
7	この講義の難易度は会計大学院の講義として適切だと思いますか？	(5) 適切である (4) ほぼ適切である (3) どちらともいえない (2) やや不適切である (1) 不適切である	この講義が基礎、展開、実践・応用科目 <sup>(注)</sup> の何れに属しているか（マークシートに記載）を考慮して回答して下さい。

(注) 実践・応用科目は基礎、展開科目で学んだ内容が、実際にどのように応用されていくのかを学習する。

番号	質問	回答	備考
8	教員のこの講義に対する準備は十分でしたか？	(5) 十分だった (4) ほぼ十分だった (3) どちらともいえない (2) やや不十分だった (1) 不十分だった	
9	教員の説明や声量など、授業でのプレゼンテーションは良好でしたか？	(5) 十分だった (4) ほぼ十分だった (3) どちらともいえない (2) やや不十分だった (1) 不十分だった	板書・プロジェクター等の利用も考慮して回答して下さい。
10	テキスト・参考書あるいはプリント等は適切でしたか？	(5) 適切である (4) ほぼ適切である (3) どちらともいえない (2) やや不適切である (1) 不適切である	
11	この講義の成績評価の方法は適切であると思いますか？	(5) 適切である (4) ほぼ適切である (3) どちらともいえない (2) やや不適切である (1) 不適切である	シラバスに記載されている成績評価を考慮して回答して下さい。
12	この講義のシラバスは講義を理解する上で役に立ちましたか？	(5) 役に立った (4) まあまあ役に立った (3) どちらともいえない (2) あまり役に立たなかった (1) 役に立たなかった	講義を選択する際に役立ったかという点も考慮して回答して下さい。
13	総合的に見て、この講義における教員のパフォーマンスをどう評価しますか？	(5) 評価できる (4) まあまあ評価できる (3) どちらともいえない (2) あまり評価できない (1) 評価できない	
14	この講義は、公認会計士試験を受験する上で役立つと思いますか？	(5) 役立つ (4) まあまあ役に立つ (3) どちらともいえない (2) あまり役に立たない (1) 役に立たない	
15	この講義は、将来のキャリアにおいて役立つと思いますか？	(5) 役立つ (4) まあまあ役に立つ (3) どちらともいえない (2) あまり役に立たない (1) 役に立たない	
16	あなたが既に合格している資格試験等について、該当するものを選んで下さい。	(5) 税理士会計科目 (4) 公認会計士短答式 (3) 日商簿記1級 (2) 日商簿記2級 (1) その他 (0) 何も無い	複数回答可能です。複数回答をするときはマークシートの16～20の欄に1つずつマークして下さい。(1)については自由記入欄に具体的に記入して下さい。
17	《講義担当教員による質問》	(5), (4), (3), (2), (1)	担当教員による質問があれば回答して下さい。
18	《自由記入欄》	授業の感想、担当教員への要望、また本アンケートの各質問に関連した更なる意見等を、マークシート添付の用紙に自由に記入して下さい。	

アンケートは以上です。御協力感謝致します。



付録2：アンケート集計結果（2011年度前期）

	選択項目	人数	割合		選択項目	人数	割合
質問1 あなたの専攻・コース (学年)について、該 当するものを選んで下 さい。	(5) 公認会計士コース(2年)	127	35.57%	質問9 教員の説明や声量な ど、授業でのプレゼン テーションは良好でし たか。	(5) 十分	224	62.57%
	(4) 公認会計士コース(1年)	195	54.62%		(4) ほぼ十分	89	24.86%
	(3) 高度会計職業人コース	15	4.20%		(3) どちらともいえない	31	8.66%
	(2) 経済経営学専攻	4	1.12%		(2) やや不十分	11	3.07%
	(1) 経済学部	10	2.80%		(1) 不十分	3	0.84%
	(0) その他	6	1.68%		合計	358	100.00%
合計		357	100.00%	質問10 テキスト・参考書ある いはプリント等は適切 でしたか。	(5) 適切	215	60.06%
質問2 この講義にどのくらい 出席しましたか。	(5) 90%以上	302	85.07%		(4) ほぼ適切	97	27.09%
	(4) 89-70%	36	10.14%		(3) どちらともいえない	30	8.38%
	(3) 69-50%	5	1.41%		(2) やや不適切	13	3.63%
	(2) 49-20%	8	2.25%		(1) 不適切	3	0.84%
	(1) 20%未満	4	1.13%		合計	358	100.00%
	合計		355	100.00%	質問11 この講義の成績評価の 方法は適切であると思 いますか。	(5) 適切	211
質問3 この講義の予習に毎回 どのくらいの時間を掛 けましたか。	(5) 5時間以上	9	2.51%	(4) ほぼ適切		91	25.49%
	(4) 4-5時間	9	2.51%	(3) どちらともいえない		42	11.76%
	(3) 3-4時間	31	8.66%	(2) やや不適切		7	1.96%
	(2) 2-3時間	35	9.78%	(1) 不適切		6	1.68%
	(1) 1-2時間	114	31.84%	合計		357	100.00%
	(0) 1時間未満	160	44.69%	質問12 この講義のシラバスは 講義を理解する上で役 に立ちましたか。	(5) 役に立った	175	49.16%
合計		358	100.00%		(4) まあまあ役に立った	93	26.12%
質問4 この講義の復習に毎回 どのくらいの時間を掛 けましたか。	(5) 5時間以上	9	2.53%		(3) どちらともいえない	69	19.38%
	(4) 4-5時間	16	4.49%		(2) あまり役に立たなかった	13	3.65%
	(3) 3-4時間	39	10.96%		(1) 役に立たなかった	6	1.69%
	(2) 2-3時間	50	14.04%		合計	356	100.00%
	(1) 1-2時間	144	40.45%	質問13 総合的に見て、この講 義における教員のバ フォーマンスをどう評 価しますか。	(5) 評価できる	219	61.52%
	(0) 1時間未満	98	27.53%		(4) まあまあ評価できる	101	28.37%
合計		356	100.00%		(3) どちらともいえない	22	6.18%
質問5 この講義の宿題に毎回 どのくらいの時間を掛 けましたか。	(5) 5時間以上	26	7.32%		(2) あまり評価できない	12	3.37%
	(4) 4-5時間	30	8.45%		(1) 評価できない	2	0.56%
	(3) 3-4時間	62	17.46%		合計	356	100.00%
	(2) 2-3時間	62	17.46%	質問14 この講義は公認会計士 試験を受験する上で役 立つと思いますか。	(5) 役立つ	160	44.82%
	(1) 1-2時間	102	28.73%		(4) まあまあ役に立つ	89	24.93%
	(0) 1時間未満	73	20.56%		(3) どちらともいえない	74	20.73%
合計		355	100.00%		(2) あまり役に立たない	15	4.20%
質問6 この講義の内容をどの 程度理解できたと思 いますか。	(5) 理解できた	101	28.29%		(1) 役に立たない	19	5.32%
	(4) ほぼ理解できた	166	46.50%		合計	357	100.00%
	(3) どちらともいえない	71	19.89%	質問15 この講義は、将来の キャリアにおいて役立 つと思いますか。	(5) 役立つ	177	50.00%
	(2) あまり理解できなかった	15	4.20%		(4) まあまあ役に立つ	106	29.94%
	(1) 理解できなかった	4	1.12%		(3) どちらともいえない	56	15.82%
	合計		357		100.00%	(2) あまり役に立たない	9
質問7 この講義の難易度は会 計大学院の講義として 適切だと思いますか。	(5) 適切	201	56.15%		(1) 役に立たない	6	1.69%
	(4) ほぼ適切	107	29.89%		合計	354	100.00%
	(3) どちらともいえない	39	10.89%	質問16 あなたが既に合格して いる資格試験等につ いて、該当するものを選 んで下さい。	(5) 税理士会計科目	27	6.94%
	(2) やや不適切	9	2.51%		(4) 公認会計士短答式	29	7.46%
	(1) 不適切	2	0.56%		(3) 日商簿記1級	72	18.51%
	合計		358		100.00%	(2) 日商簿記2級	157
質問8 教員のこの講義に対す る準備は十分でした か。	(5) 十分	233	65.08%		(1) その他	18	4.63%
	(4) ほぼ十分	84	23.46%		(0) 何も無い	86	22.11%
	(3) どちらともいえない	24	6.70%	合計	389	100.00%	
	(2) やや不十分	11	3.07%				
	(1) 不十分	6	1.68%				
	合計		358	100.00%			

注) 質問と選択項目の文言は本来のものと若干異なります。

2011 年度 東北大学会計大学院ワークショップ委員会

委員長	松田 康弘
委員	青木 雅明
委員	木村 史彦
委員	千木良 弘朗

会計大学院アンケート実施報告書 2011 年度前期

2011 年 12 月 6 日発行

編集・発行： 東北大学会計大学院ワークショップ委員会